

インクルーシブでダイナミックなアフリカの開発 ーアフリカの持続的な発展に向けた方策について議論ー

国際協力機構（JICA）は、5月31日13時より、横浜インターコンチネンタルホテルにて、「インクルーシブでダイナミックなアフリカの開発」をテーマにセミナーを開催しました。

アフリカからはコートジボワール共和国のアラサン・ワタラ大統領やセネガル共和国のマッキー・サル大統領やエチオピア連邦民主共和国のハイレマリアム・デサレン首相、JICA 田中明彦理事長、緒方貞子特別顧問が、今後のアフリカにおいて女性、若年層を含む全ての人々が恩恵を受け、民間セクターの潜在力を最大限に活用した開発を実現することをテーマに議論しました。



左から：田中理事長、コートジボワール共和国のアラサン・ワタラ大統領やセネガル共和国のマッキー・サル大統領やエチオピア連邦民主共和国のハイレマリアム・デサレン首相

3名の首脳は、アフリカにおいて民間セクターのポテンシャルを最大限に活用する為に、インフラ整備等において民間セクターの役割を中心に据えた経済政策の重要性や政府と民間の対話の促進、および民間セクターを主導とした開発における政府の役割の重要性について述べました。また、日本を含む海外の投資を増大させる為には、電力・交通などのインフラを整備し、民主化やガバナンスの改善を通して汚職対策を強化し、投資環境を整備することの重要性が強調されました。ハイレマリアム首相は、アフリカは東アジアの成長経験から学び、政府が積極的に民間セクター活用の調整役を果たすべきであるとの考えを示しました。

また、パネルディスカッションでは、女性と若年層が活発に参加できるインクルーシブ（包摂的）な開発について議論しました。3名の首脳は、人口の半分を占める女性が社会に進出するための政策について議論し、労働人口の60%を占める18歳から25歳までの若年層が職を得られるような政策の必要性について意見を交わしました。セネガルのサル大統領は、失業対策の重要性について触れるとともに、JICAが20年以上にわたり技術協力を実施している職業訓練校「セネガル・日本職業訓練センター（CFPT）」の貢献に対し謝意を伝えました。コートジボワールのワタラ大統領は、アフリカは「若者の大陸」であるとし、若者へ明るい未来を与えるには投資や成長だけでなく、根本的な考え方の変革が重要であるとの考えを示しました。

今回、アフリカの首脳クラスとJICAが一同に会した結果、女性や若年層がいかに社会・経済に積極的に参加できるよう政府が支援できるか、また民間セクターを最大限活用するためには政府によるガバナンス改善が必要かという点が共通の課題であることが再認識されました。今回の議論が、今後、各国の政策に反映されていくことが期待されます。また、JICAは今後とも、各国のニーズに応じ、草の根レベルの協力から政策提言にいたるまで、さまざまな形で、各国の抱える課

【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

題の解決に貢献していきます。

■本イベントの登壇者

【パネリスト】

- ・コートジボワール共和国 アラサン・ワタラ大統領
- ・セネガル共和国 マッキー・サル大統領
- ・エチオピア連邦民主共和国 ハイレマリアム・デサレン首相

【モデレーター】

- ・田中明彦 JICA 理事長

【開会の挨拶】

- ・緒方貞子 JICA 特別顧問